



第2次柏市教育振興計画の振り返り

柏市教育委員会 教育政策課

概要



①基本方針

・子どもたちが未来の社会を生きる力を培い、生涯にわたって学び続ける基礎を培うための学ぶ意欲を育む

②計画の方向性

★学ぶ意欲を育成する

ICTなどを効果的に活用し、「分かる授業」を推進する

★互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる

不登校対策や特別教育支援の充実を図り、安心して学習できる環境づくりに取り組む

★教職員の力量・学校の組織力を高める

教職員の力量を高めるための研修や、負担軽減に向けた取組を推進する

★地域・家庭とともにある学校をつくる

コミュニティ・スクールとして地域の活性化を図り、子どもの居場所づくりに向けた取組を推進

③計画全体の達成度

目標値に対する達成率	指標数	割合	
達成率100%以上	28	24.8%	(71.7%)
達成率90%～100%	32	28.3%	
達成率80%～89%	21	18.6%	
達成率50%～79%	24	21.2%	(21.2%)
達成率0%～49%	8	7.1%	(7.1%)

第2次計画 施策1「学ぶ意欲を育成する」



★良好な指標

目標値に対しての達成率	指標数	割合
達成率100%以上	14	25.5%
達成率90%～100%	19	34.5%
達成率80%～89%	13	23.6%



評価点	第3次計画での位置付け
水泳指導の民間委託が進み、天候に左右されない安全・安心な水泳指導を受けられる環境が整備された。	施策1-1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
ICT利活用が定着化した。タブレット活用を前提に授業を組立てることが当たり前になりつつあり、児童・教師ともに活用スキルが向上した	施策1-2 デジタル学習基盤による情報活用能力の育成
学級担任からの声掛けや、給食委員会の児童生徒による取組により、食事の重要性や、食品ロスに対する意識が定着した。	施策4-6 健康を支える給食と食育の推進

★課題となった指標

達成率50%～79%	6	10.9%
達成率0%～49%	3	5.5%



課題及び今後の方針	第3次計画での位置付け
現場では教師主導型授業がまだ見られる現状。ICTの日常化を含めて、「主体的・対話的」で探究的な学び視点の授業をより推進していく。	施策1 主体的な学び手の育成
英語教育の充実を図る。国際交流の機会を充実させるなど、具体策を検討していく。	施策1-3 グローバル人材の育成
イチカシの魅力化を図る。コミュニティ・スクール化や、キャリアアップを目的とした講演会等の機会を充実させ、魅力アップに繋げていく。	施策4-3 魅力あるイチカシづくり

(参考) 第2次計画 施策1「学ぶ意欲を育成する」



指標一覧		達成率		第3次計画での位置付け
良好	民間施設を活用したプール授業により泳げるようになった子どもの割合	95%		施策1－1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
	授業でのICT活用に対する肯定的意見の割合	91.5%		施策1－2 デジタル学習基盤による情報活用能力の育成
	給食を全部食べようとしている児童生徒の割合	97.8%	小:98.1% 中:97.5%	施策4－6 健康を支える給食と食育の推進
課題	柏市学力・学習状況調査の結果(1年・算数)	67.4%		施策1－1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
	教科書に掲載されている理科の実験を児童生徒が行った割合	79%		
	英語を使ったコミュニケーションが好きだと答える児童生徒の割合	77.9%	小:80.8% 中:75.1%	施策1－3 グローバル人材の育成
	教職員のICTに関する指導能力(中学校)	78.8%		

第2次計画 施策2「互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる」



★良好な指標

目標値に対しての達成率	指標数	割合
達成率100%以上	7	22.6%
達成率90%～100%	8	25.8%
達成率80%～89%	5	16.1%



評価点	第3次計画での位置付け
市費による会計年度任用職員(スクールソーシャルワーカーや教育支援員等)の配置が進み、不登校児童支援や特別教育支援を組織的に行う体制が整備された。	施策3 多様な教育ニーズへの対応
通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成と活用が促進されるよう、対象や様式、記入例などを明確に提示するなどの取組によって、計画の作成に寄与した。	

★課題となった指標

達成率50%～79%	8	25.8%
達成率0%～49%	3	9.7%



課題及び今後の方針	第3次計画での位置付け
スマートフォンの使用について、各自がルールを定めての使用を徹底していくことで、情報モラルに対する意識の向上に繋げていく。	施策1-2 デジタル学習基盤による情報活用能力の育成
いじめの認知件数が増加している。発生後の解消の取組に加え、未然防止と早期発見の取組を推進していく。	施策3-3 いじめ対策の充実
学校施設の多くは築後30年以上が経過している。安全確保のための計画的な老朽化対策を実施していく。	施策4-4 安全・安心な学校施設の充実

(参考) 第2次計画 施策2「互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる」



指標一覧		達成率		第3次計画での位置付け
良好	通常の学級に在籍する支援が必要な児童生徒の, 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成率	99.7%		施策3-1 特別支援教育の推進
	スクールソーシャルワーカーの配置数	100%		施策3 多様な教育ニーズへの対応
	SOSを出す相手・手段があると考える児童生徒の割合	80.6%	小:82.6% 中:90.6%	
課題	スマートフォンの使用ルールを自己又は家庭で定めている児童生徒の割合	58.3%	小:56.3% 中:60.3%	施策1-2 デジタル学習基盤による情報活用能力の育成
	引渡し困難な子どもの数を把握している小中学校	63.5%		施策5-4 防災体制の整備
	事前に定めた役割に応じた訓練を実施している小中学校	77.8%		
	地域と連携した訓練又は災害対策を実施している学校数	71.5%	小:76.2% 中:66.7%	
	校舎の老朽化対策が施された学校の割合	33.7%		施策4-4 安全・安心な学校施設の充実

第2次計画 施策3 「教職員の力量・学校の組織力を高める」



★良好な指標

目標値に対しての達成率	指標数	割合
達成率100%以上	2	14.3%
達成率90%～100%	3	21.4%
達成率80%～89%	0	0%



評価点	第3次計画での位置付け
教職員の働き方改革では、校務DX化や働き方改革に関する研修を行い、積極的に取り組む意識を醸成したことで、一部でこどもに向き合う時間が増えたと感じる教員が増えるなど、一定の成果があった。	施策4-1 働きがいのある 職場づくりと業務の 適正化
教職員育成のための研修では、意見共有やアウトプットの機会を増やす取組を行ったことで、研修の理解度が上昇した。	施策4-2 教職員の資質・能力 の向上

★課題となった指標

達成率50%～79%	7	50%
達成率0%～49%	2	14.3%



課題及び今後の方針	第3次計画での位置付け
働き方改革に対する意識や取組は向上したものの、時間外在校時間数を見ると改善余地あり。(特に中学校。) 各校における時間外在校等時間のフィードバックや、各校の取り組みの共有を行うなど、原因調査と対策を引き続き行っていく。	施策4-1 働きがいのある 職場づくりと業務の 適正化
教職員が研修で習得したスキルを、授業で効果的に実践していくことが重要。そのために必要な体制整備や伴走支援に取り組んでいく。	施策4-2 教職員の資質・能力 の向上

(参考) 第2次計画 施策3 「教職員の力量・学校の組織力を高める」



指標一覧			達成率	第3次計画での位置付け
良好	教職員育成の希望研修に対する満足度		103.6%	施策4-2 教職員の資質・能力の向上
	教職員育成研修に対する理解度		101.9%	
課題	月の在校時間が45時間を超える教職員割合の削減		63%	小:69.1% 中:56.9%
	教職員アンケートで、子どもに向き合う時間があると回答した教員の割合			施策4-1 働きがいのある職場づくりと業務の適正化
	小学校	授業準備	50.7%	
		個別支援	96%	
		要配慮児童への支援	76%	
		自己研鑽	61.3%	
	中学校	授業準備	49.3%	
		個別支援	66.7%	
		要配慮児童への支援	45.3%	
		自己研鑽	50.7%	

第2次計画 施策4 「地域・家庭とともにある学校をつくる」



★良好な指標

目標値に対しての達成率	指標数	割合
達成率100%以上	5	38.5%
達成率90%～100%	2	15.4%
達成率80%～89%	3	23.1%



評価点	第3次計画での位置付け
学校運営協議会の設置が全小中学校で完了。学校運営協議会の制度そのものや役割に対する理解も徐々に進み、地域とともにある学校づくりを推進していく体制や、学校行事・地域行事等の学校・地域間での連携等、各協議会において様々な地域学校協働活動を展開していく体制が整備された。	施策5-1 コミュニティ・ スクールの活性化
夏休みの体験イベントの実施などにより、子どもたちが、安心・安全かつ有意義に過ごせる居場所の確保が進んでいる。	施策5-2 子どもの居場所 づくり

★課題となった指標

達成率50%～79%	3	23.1%
達成率0%～49%	0	0%



課題及び今後の方針	第3次計画での位置付け
学校と地域をつなぐコーディネーター的役割を果たす、地域学校協働活動推進員の配置。 ⇒担い手の確保と、研修などによる能力育成に取り組む。	施策5-1 コミュニティ・ スクールの活性化
放課後子ども教室とこどもルーム事業がアフタースクール事業に一本化されていく中で、事業での活動をいかに学習習慣の向上に繋げていけるかを念頭に取組んでいく。	施策5-2 子どもの居場所 づくり

(参考) 第2次計画 施策4 「地域・家庭とともにある学校をつくる」



指標一覧		達成率	第3次計画での位置付け
良好	コミュニティ・スクールの設置	100%	施策5-1 コミュニティ・ スクールの活性化
	コミュニティ・スクールの議論が実際の活動につながった学校の数	96.4%	
	放課後子ども教室参加者のうち, 満足している人の割合	107.6%	施策5-2 子どもの居場所 づくり
課題	地域学校協働活動推進員を委嘱している学校数	76.2%	施策5-1 コミュニティ・ スクールの活性化
	放課後子ども教室参加者のうち, 学習習慣が向上又は維持している人の割合	74.8%	施策5-2 子どもの居場所 づくり
	みんなの子育て広場支援委員会設置校数	59.5%	施策5-3 家庭への支援